

安全最優先で業務履行

網走道路整備事業協組

除雪業務安全大会を開催



全履行を誓い合った。

網走道路整備事業協組は、事業課管内の二十七路線三百四十九・九キロの除雪業務を請け負っている。この日は、会員各社から十四人が

参加し、網走建管からは中山秀紀事業課長ら事業課職員七人が参加した。

はじめに、筈谷代表理事があいさつ。ことし三月に発生した暴風雪災害を振り返り、「今まで経験のない災害が発生した」と述べ、「当事者として経験したこ

とを、今後の業務に生かさなければならぬ」と強調。除雪業務に当たっては、「第三者を絶対に巻き込まないことを念頭に置き、作業に従事してほしい」と呼びかけた。

続いて、中山課長があいさつ。道民の安全・安心を守る業界の尽力に敬意を表するとともに、除雪業務の本格化を迎え、「交通安全への十分な注意と、交通規制の迅速な対応をお願いする」と述べ、無事故・無災害での業務履行を求めた。

このあと、網走警察署の藤原学交通課長が交通安全の徹底に向けて講話したほか、事業課職員が除雪業務における注意事項を説明。網走道路整備事業協組の代表者が安全宣言し、除雪業務における無事故・無災害を誓い合った。

【網走発】網走道路整備

事業協組（代表理事・筈谷俊一網走工業㈱社長）は二十日、網走市内オホーツク文化交流センターで除雪業務安全大会を開催した。写真。会員各社や網走建管事業課職員ら二十一人が出席し、除雪業務における安